

2017年3月期（第117期）
（2016年4月1日～2017年3月31日）

芦森グループ決算説明資料

連結業績は、売上高50,331百万円、
営業利益1,510百万円、経常利益1,362百万円、
親会社株主に帰属する当期純利益1,019百万円となりました。

2017.5.12

芦森工業株式会社

I. 2017年3月期（第117期）実績
および
2018年3月期（第118期）予想

2017年3月期業績は前期比で減収減益

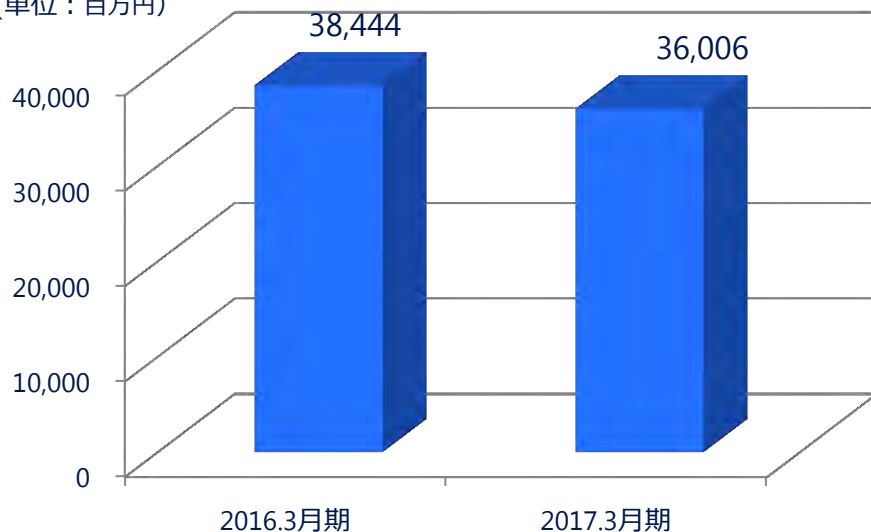
	2016年3月期 実績 (百万円)	2017年3月期 実績 (百万円)	前期比	
			(百万円)	増減(%)
売上高	51,380	50,331	▲1,048	▲2.0%
営業利益	2,071	1,510	▲560	▲27.1%
(営業利益率)	4.0%	3.0%	▲1.0ポイント	-
経常利益	1,700	1,362	▲337	▲19.9%
特別損益	36	185	148	-
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,360	1,019	▲340	▲25.1%

減収減益の主な要因

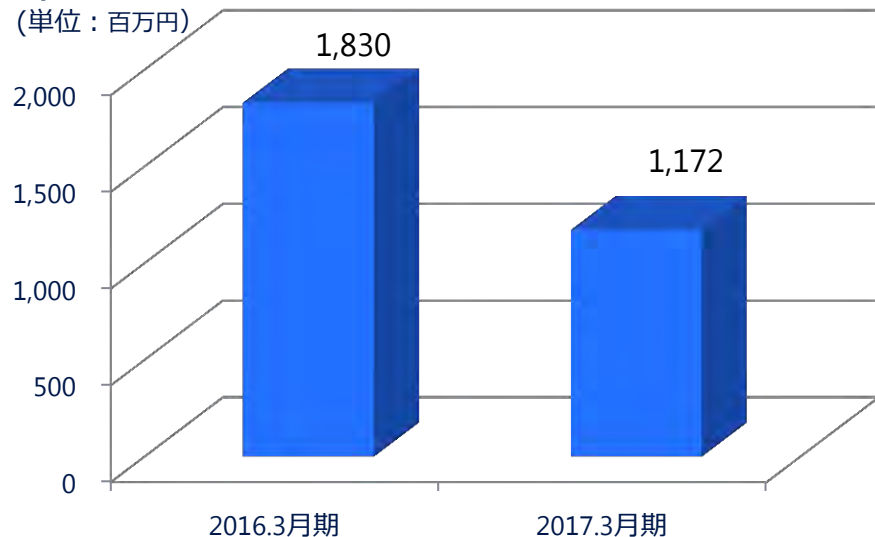
- ・自動車安全部品事業における国内の自動車減産や円高の影響などから、売上高、営業利益は減収減益となる。
- ・営業外費用に為替差損を計上した結果、経常利益も減益となる。
(営業外為替差損：2017年3月期 約2億円、2016年3月期 約4億円)
- ・特別利益に製品保証引当金戻入などを計上したが、当期純利益も減益となる。

		2016年3月期 実績 (百万円)	2017年3月期 実績 (百万円)	前期比	
				(百万円)	増減(%)
自動車 安全部品 事業	売上高	38,444	36,006	▲2,437	▲6.3%
	営業利益	1,830	1,172	▲658	▲36.0%
	(営業利益率)	4.8%	3.3%	▲1.5ポイント	-
機能製品 事業	売上高	12,927	14,317	1,390	10.8%
	営業利益	1,481	1,553	71	4.8%
	(営業利益率)	11.5%	10.8%	▲0.6ポイント	-
調整他	売上高	8	7	▲1	-
	営業利益	▲1,241	▲1,214	26	-
合 計	売上高	51,380	50,331	▲1,048	▲2.0%
	営業利益	2,071	1,510	▲560	▲27.1%
	(営業利益率)	4.0%	3.0%	▲1.0ポイント	-

連結売上高
(単位：百万円)



連結営業利益
(単位：百万円)



2017年3月期

売上高 (前期比 6.3%減↓)
営業利益 (同比 36.0%減↓)

<業績概要>

・シートベルト・エアバッグ

海外における新規受注車種の立ち上げを、国内における受注車種の減産が上回ったため、トータルの販売数量が減少となる。更に円高の影響もあり減収となる。

・内装品その他

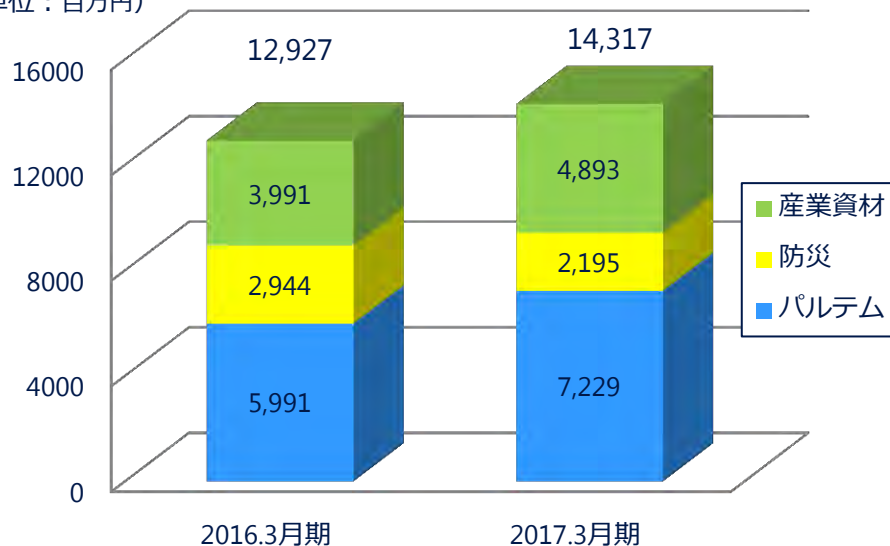
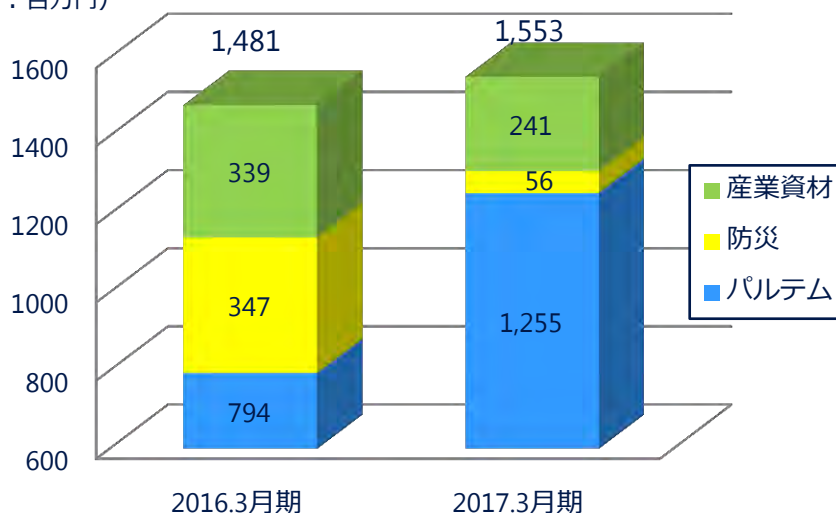
韓国およびタイでは販売が増えたものの、国内含む他の地域で販売が低迷し減収となる。

・利益面

減収の中、一層の経費節減に努めるものの、大幅な減益となる。

為替変動リスクへの対応に課題を残した。

(下半期より為替変動リスク対策を強化)

連結売上高
(単位：百万円)連結営業利益
(単位：百万円)

2017年3月期

売上高 (前期比 10.8%増↑)
営業利益 (同比 4.8%増↑)

・ パルテム関連

緊急排水ホースの販売が減少したものの、ライフライン（下水道・電力等）の管更生分野において受注が好調に推移し増収となる。

・ 防災関連

消防用ホースの拡販活動が功を奏し、販売数量が増加したものの、大口径ホース案件が次期へずれ込んだことで減収となる。

・ 産業資材関連

物流省力化へのニーズの高まりを商機と捉えた拡販が功を奏し増収となる。

2017年3月期よりオールセーフ(株)との連結開始。

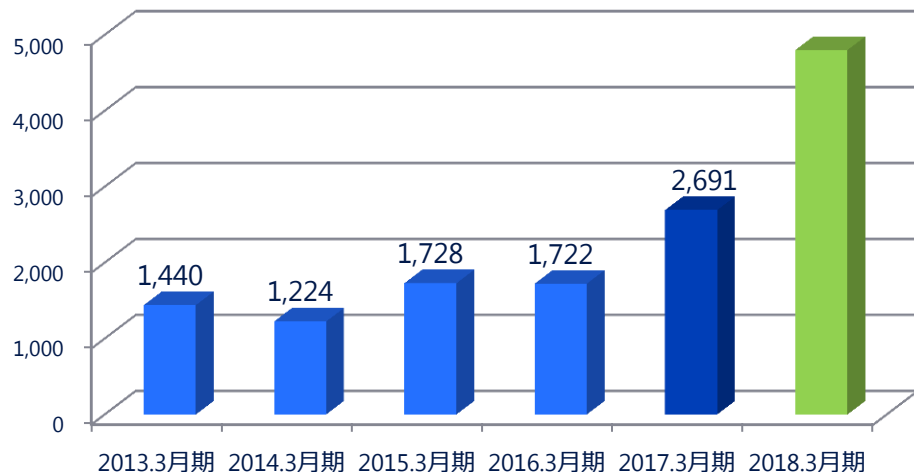
※パルテム(PALTEM)は、ライフライン(上下水道・ガス等)の管更生事業 Pipeline Automatic Lining system の略称

設備投資の推移

予想

4,800

(単位：百万円)

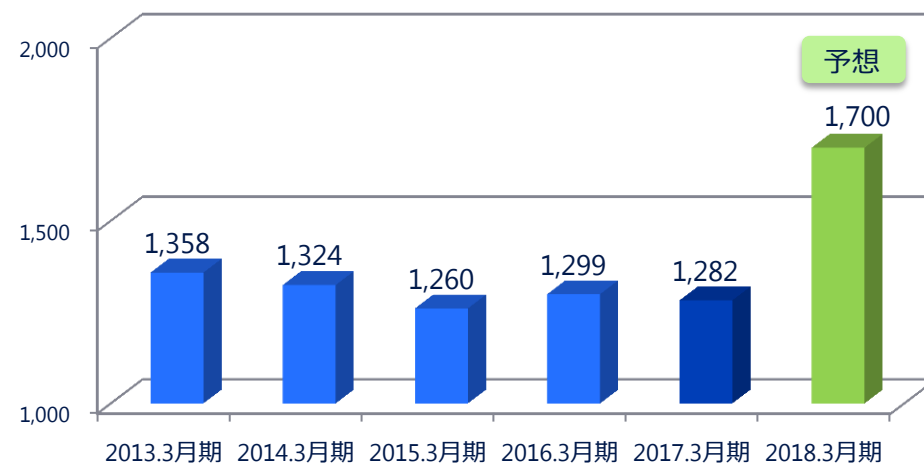


減価償却費の推移

予想

1,700

(単位：百万円)



<設備投資について>

- ・当期の設備投資実績は26億円強となる。

(うち、自動車安全部品事業23億円、機能製品事業2億円)

主な設備投資は、メキシコ現地法人の第二工場建設約7億円など。

設備投資は前期比増加したが、減価償却費は同比減少している。

(金型償却年数を変更したことに伴い、減価償却費が従来比76百万円減少した)

別途、M & A 投資16億円を実施している。

- ・次期は48億円の投資を見込む。

(うち、自動車安全部品事業36億円、機能製品事業10億円)

主な設備投資は、メキシコ現地法人の第二工場関連など。

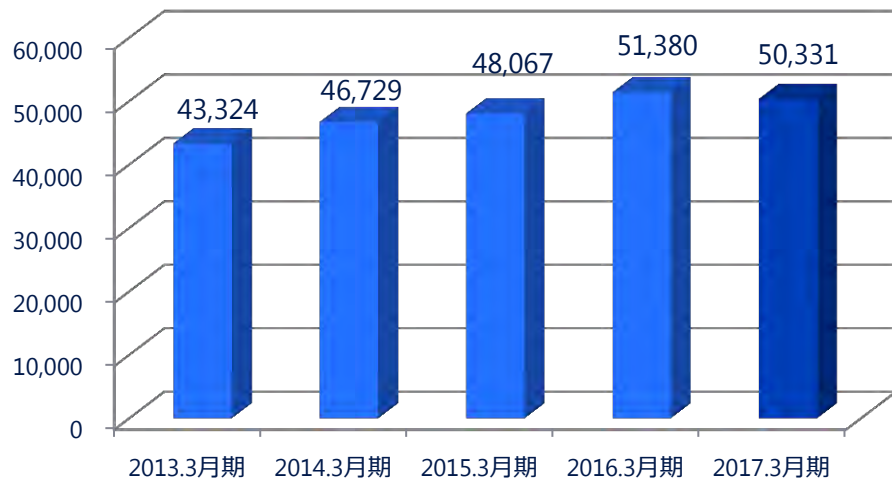
(単位：百万円)	2016年3月期	2017年3月期	前期比	
流動資産	23,604	25,230	1,626	<ul style="list-style-type: none"> ・オールセーフ(株)の株式取得に伴い、資産、負債が増加 ・海外グループ会社の設備投資により、固定資産は更に増加(アシモリ・メキシコ第二工場建設中約7億円など) ・投資に伴う資金需要を借入で対応したため、有利子負債が増加 ・有利子負債の増加により、自己資本比率は若干低下
固定資産	12,859	15,682	2,822	
資産合計	36,464	40,913	4,449	
有利子負債	8,833	11,562	2,728	
その他負債	14,052	15,026	974	
負債合計	22,886	26,589	3,703	
資本金	8,388	8,388	0	
資本剰余金	1,632	1,632	0	
利益剰余金	3,306	4,143	837	
自己株式	▲8	▲11	▲2	
その他包括利益累計額	231	142	▲88	
非支配株主持分	27	26	▲0	
純資産の部合計	13,577	14,323	745	
負債及び純資産の部合計	36,464	40,913	4,449	
自己資本比率	37.2%	34.9%	▲2.2ポイント	

	2016年3月期 実績 (百万円)	2017年3月期 実績 (百万円)	前期比 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,241	1,930	▲1,311
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,495	▲3,673	▲2,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲951	1,956	2,907
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	639	76	▲563
現金及び現金同等物の期末残高	3,143	3,219	76

- ・ 営業C/Fは、利益減や棚卸資産の増加により前期比マイナスとなった。
- ・ 投資C/Fは、オールセーフ(株)株式の取得や、設備投資の増加により前期比マイナスが増加した。
- ・ 財務C/Fは、支出増に伴う有利子負債の増加により前期比プラスとなった。

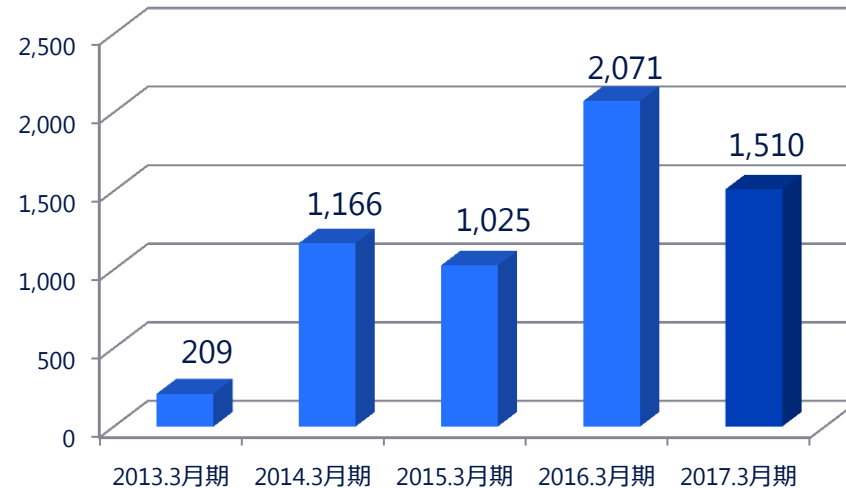
(単位：百万円)

売上高



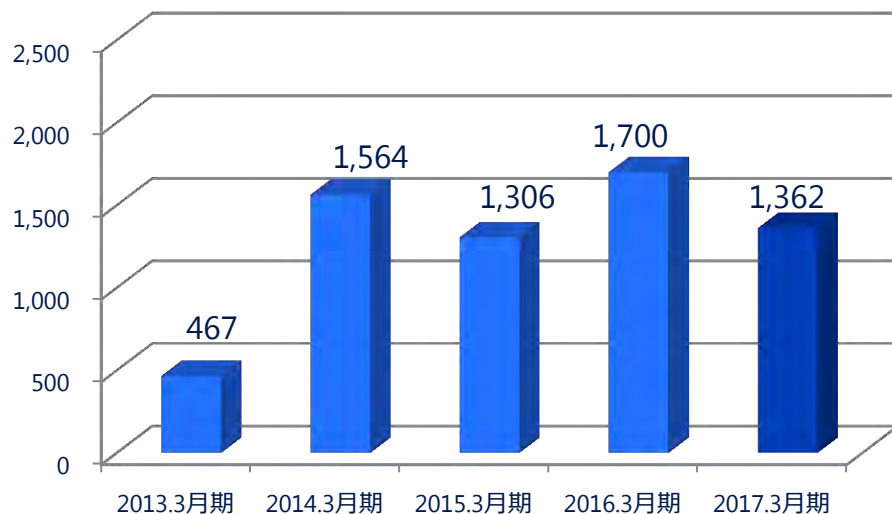
(単位：百万円)

営業利益



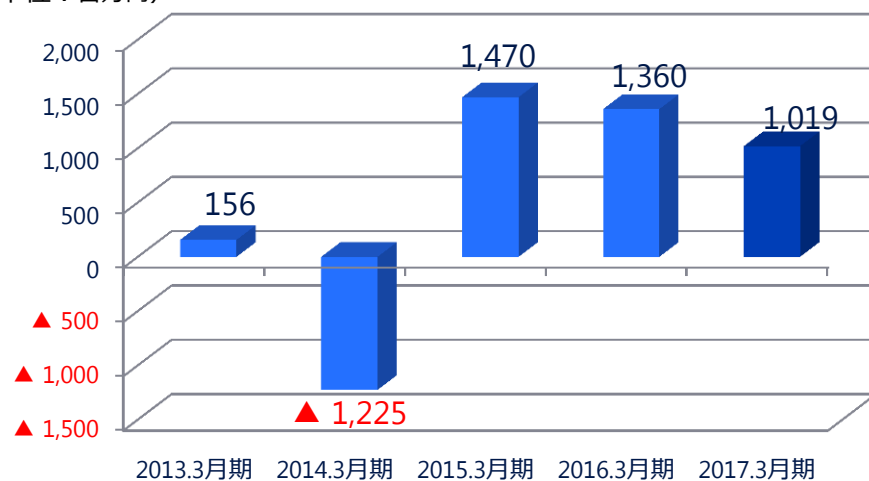
(単位：百万円)

経常利益



(単位：百万円)

親会社株主に帰属する当期純利益



2018年3月期（第118期）は前期比増収増益の見込み

	2017年3月期 実績 (百万円)	2018年3月期 予想 (百万円)	前期比	
			(百万円)	増減(%)
売上高	50,331	56,500	6,168	12.3%
営業利益	1,510	2,400	889	58.9%
(営業利益率)	3.0%	4.2%	1.2ポイント	-
経常利益	1,362	2,300	937	68.8%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,019	1,700	680	66.8%

想定為替レート
113円/US\$・130円/€

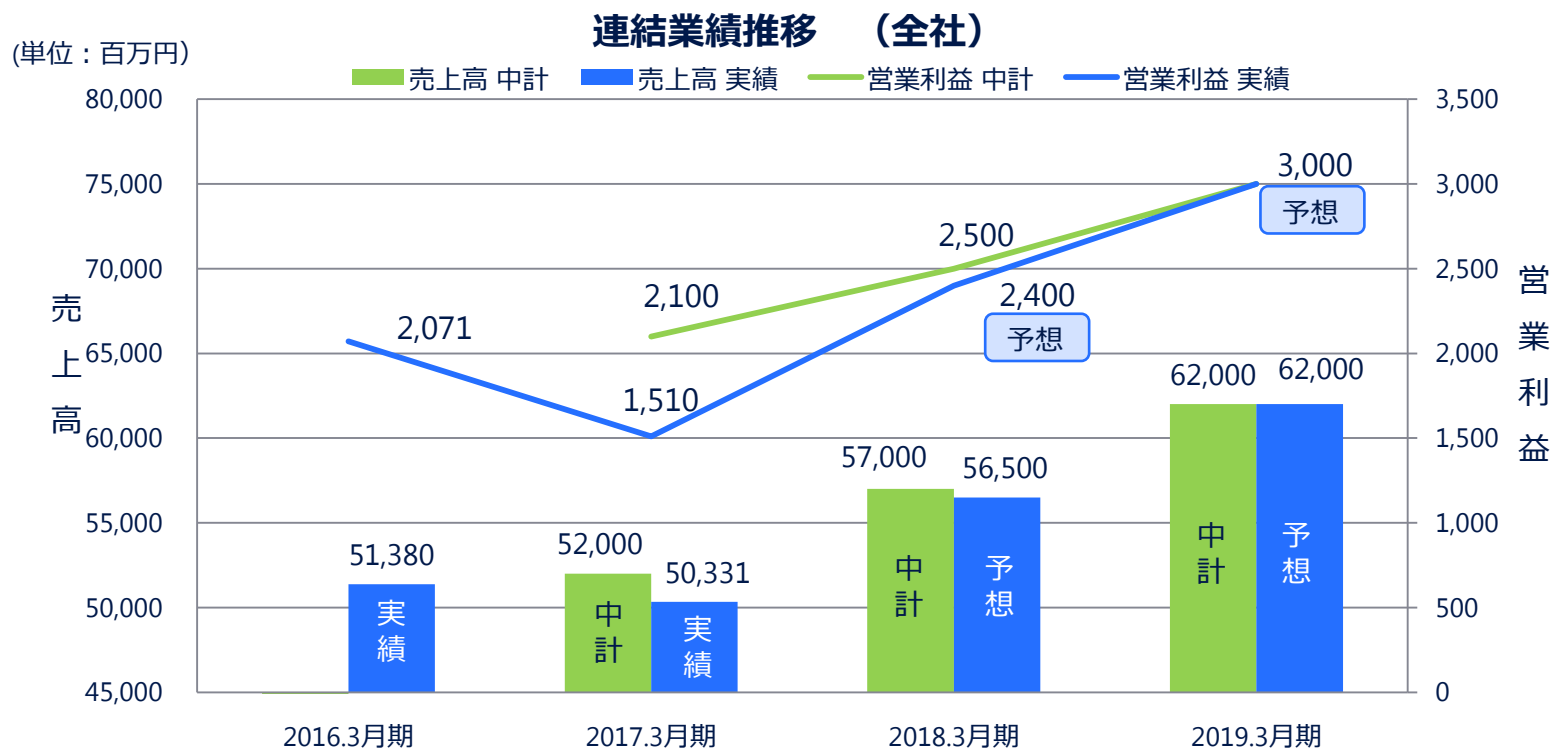
- 各セグメントとも前期比増収増益を見込む。
結果、売上高、営業利益、経常利益、純利益は**過去最高**を更新する見込み。
- 「2017年3月期～2019年3月期（第117期～第119期）中期経営計画」の2年目となる。
初年度は中計目標を大幅に下回ったが、2年目は中計目標比微減となる見込み。

(単位：百万円)		2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	前期比	
				(百万円)	増減(%)
自動車 安全部品 事業	売上高	36,006	40,000	3,993	11.1%
	営業利益	1,172	1,700	527	45.0%
	(営業利益率)	3.3%	4.3%	1.0ポイント	-
機能製品 事業	売上高	14,317	16,500	2,182	15.2%
	営業利益	1,553	2,000	446	28.7%
	(営業利益率)	10.8%	12.1%	1.3ポイント	-
調整他	売上高	7	5	▲1	-
	営業利益	▲1,214	(※) ▲1,300	▲86	-
合 計	売上高	50,331	56,500	6,168	12.3%
	営業利益	1,510	2,400	889	58.9%
	(営業利益率)	3.0%	4.2%	1.2ポイント	-

(※) 本社経費は前期比増加する見込み。

- ・ 研究開発の強化に伴う経費増（新規導入設備の減価償却費など）
- ・ システム再構築費用（業務効率化や将来のシステム運用コスト低減に向けた初期費用）

Ⅱ. 中期経営計画の進捗状況



2017年3月期（第117期）実績

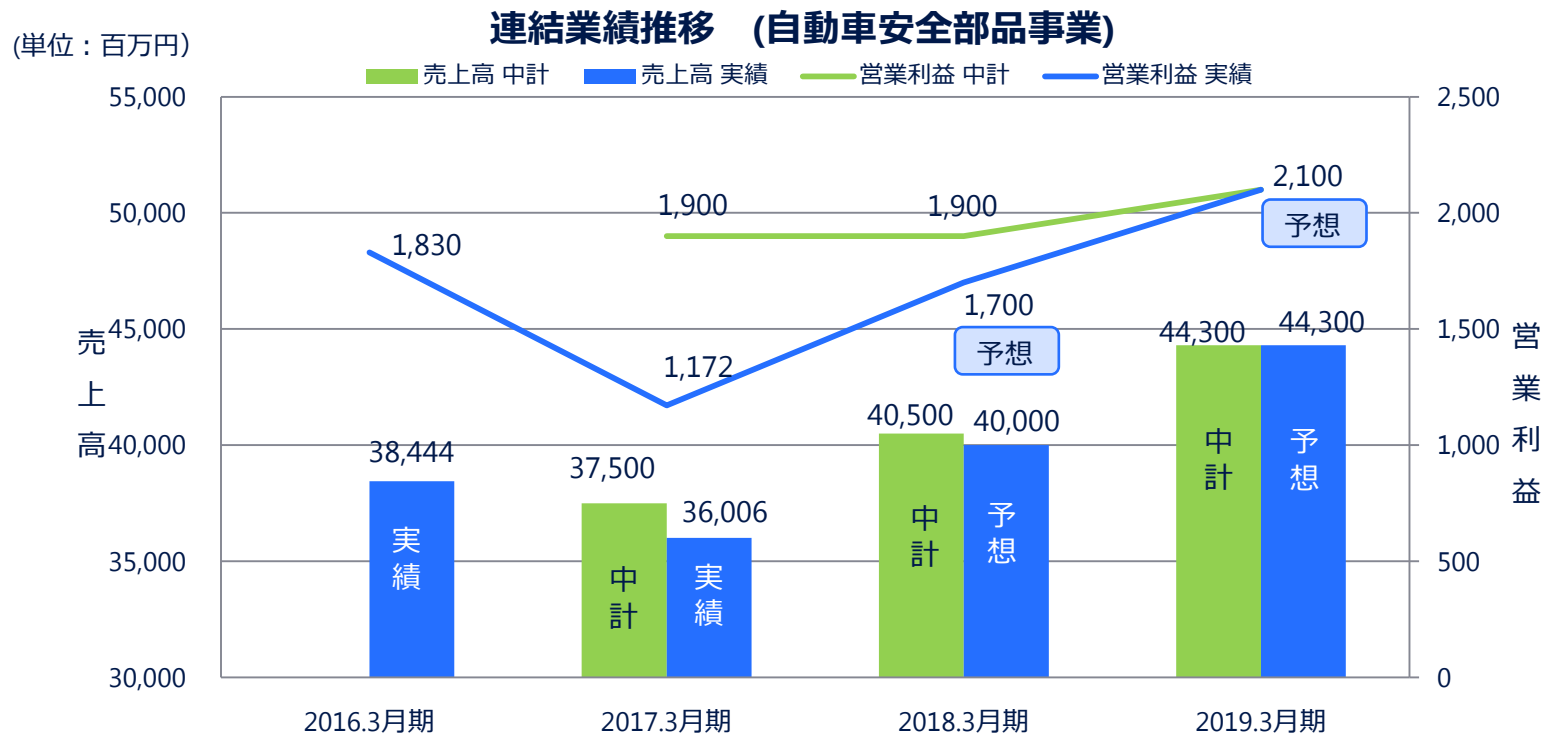
中計目標との差 売上高 ▲16億円、営業利益▲5億円

✓ 減収減益の主因は、自動車安全部品事業における受注車種の減産および円高の影響。

2018年3月期（第118期）予想

中計目標との差 売上高 ▲5億円、営業利益▲1億円

✓ 中計目標比では減収減益となるが、前期比では増収増益の見込み。



2017年3月期（第117期）実績

中計目標との差 売上高 ▲14億円、営業利益 ▲7億円

- ✓ 国内の受注車種の減産および円高の影響により、中計目標との比で減収減益となる。

2018年3月期（第118期）予想

中計目標との差 売上高 ▲5億円、営業利益 ▲2億円

- ✓ 国内の減産は改善されているが、海外の受注が中計よりも減少する見込みのため、中計目標比では減収減益となる。前期比では増収増益の見込み。

中計施策の進捗状況（自動車安全部品事業）

中計施策

1. グローバル生産販売体制の確立

- ① アシモリ・コリアの新工場軌道化
- ② アシモリ・メキシコの規模拡大
（第二工場新設）
- ③ アシモリ・インドアの収益安定化
- ④ 営業拠点新設（欧州・北米）

2. 次世代商品の開発強化

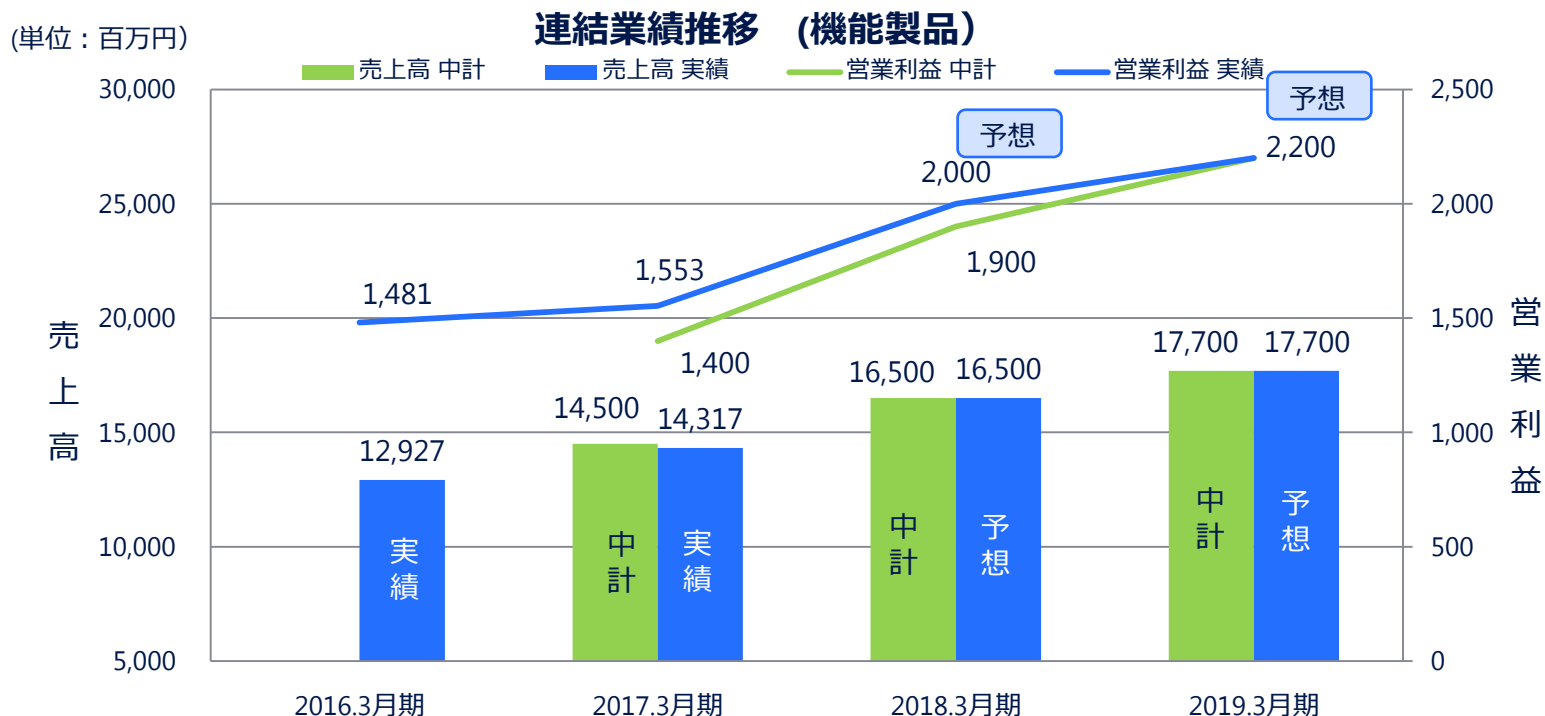
進捗状況および対策

1. 海外事業の規模拡大や収益基盤の強化は、概ね順調に進捗。

- ① アシモリ・コリア新工場は、順調に立ち上がり。韓国現地販売を本格化する予定。
- ② アシモリ・メキシコ第二工場は、2017年9月操業開始予定。中計2年目の売上は中計比減少の見込みも、工場増設により欧米への拡販を図る。
- ③ アシモリ・インドアは、拡販効果および為替対策により、収益が大幅に改善。更に現地拡販や品質コストの強化を図る。
- ④ 2017年5月にドイツへ欧州事務所を新設。

2. カーメーカーとの共同で次世代商品を開発。

受注のための生命線として開発力を発揮していく。



2017年3月期（第117期）実績

中計目標との差 売上高 ▲1億円、営業利益+1億円

- ✓ 受注好調なパルテム関連が、防災関連、産業資材関連の不振をカバーし、ほぼ中計並みとなる。

2018年3月期（第118期）予想

中計目標との差 売上高 ±0、営業利益+1億円

- ✓ パルテム関連の好調継続、オールセーフ(株)の通年寄与、大口径送水用ホースの販売増等により、営業利益は中計目標を上回る見込み（前期比でも増収増益）。

中計施策の進捗状況（機能製品事業）

中計施策

1. オールセーフ(株)との連携による収益拡大
2. 海外拡販による事業拡大
3. 次世代商品の開発強化

進捗状況および対策

1. 2016年5月に子会社化したオールセーフ(株)との連携を強化し、物流や建築などの堅調な分野へ販売を確保していく。グループ内でのシナジー効果を発揮させていく。
2. パルテム関連では、北米他への海外分野の挑戦を続行し、産業資材関連では、アジアを中心とした海外事業展開を加速し、事業規模の拡大を図っていく。
3. パルテム関連では、次世代製品の開発を推進し、防災関連では、大口径送水システムや防災資機材のラインナップの拡充を図っていく。
産業資材関連では、土木関係の新商品の開発を目指す。

Ⅲ.ガバナンス体制の強化

【社外取締役の増員】

本年の定時株主総会にて、社外取締役を1名増員する予定。
（社外取締役は3名で、取締役8名のうち1/3以上となる）
経営の客観性・透明性をより高め、コーポレート・ガバナンス体制を強化していく。

【執行役員制度の導入】

経営の意思決定および監督機能と業務執行機能の分担を明確にし、経営機能および執行機能の双方の強化を図ることにより、当社を取り巻く環境の変化に対して、より適切かつ迅速な対応ができる体制を構築するため、執行役員制度を導入する。

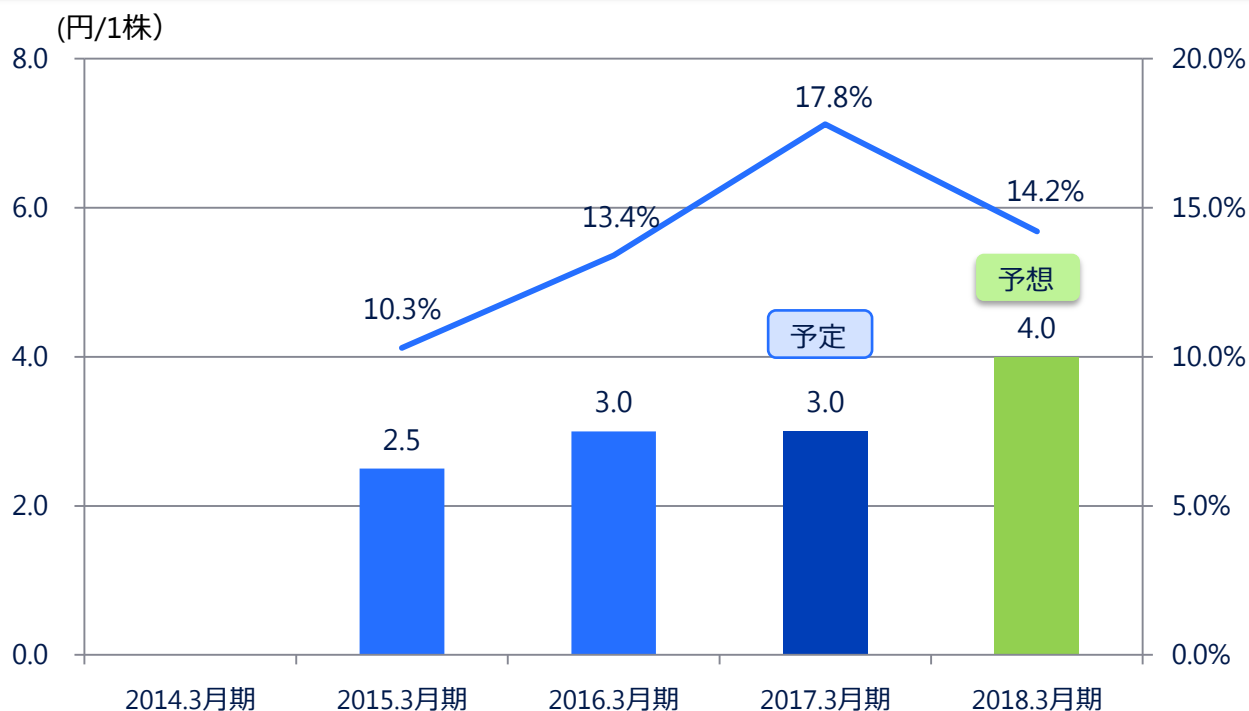
IV.資本政策・株主還元方針

資本政策については、成長投資と安定的な株主還元をバランスよく配することを志向する。

成長投資については、中長期的な企業価値向上に向け、研究開発、設備投資、人材投資、M & Aなどを積極的に実行していく。

株主還元については、利益水準に応じて配当水準を引き上げていくことを基本方針とする。

2017年3月期は1株当たり3.0円を予定
2018年3月期は1株当たり4.0円の見込



	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期 (予定)	2018年3月期 (予想)★
配当金 (円/1株)	0.0	2.5	3.0	3.0	4.0
配当性向 (連結)	-	10.3%	13.4%	17.8%	14.2%

★2018年3月期（予想）については、株式併合後は40円/1株

自動車安全部品事業の売上高が拡大したことにもない、2016年10月3日をもって、東京証券取引所における従来当社株式の所属業種が「繊維製品」から「輸送用機器」へ変更となった。

2017年10月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更する。
また同日付にて株式併合を実施する。
(10株を1株に統合)

V. トピックス・参考資料

当社メキシコ現地法人は、欧米向け拡販による事業規模拡大を図るため、現在、第二工場を建設中です。
建設計画に大きな変更はなく、8月には完成、9月より操業を開始する予定です。

ASHIMORI INDUSTRIA de MEXICO, S.A. de C.V.第二工場の概要

- (1) 建設場所 メキシコ合衆国グアナファト州
 (ASHIMORI INDUSTRIA de MEXICO, S.A. de C.V.敷地内)
- (2) 工場面積 建屋面積 約6,300㎡
- (3) 投資額 約2億メキシコペソ(約13億円)
- (4) 操業開始 2017年9月(予定)
- (5) 主な事業内容 自動車用シートベルト・エアバッグ・内装品等の製造・販売
 (工場増設に伴い、生産能力は従来比約3倍へ拡大)

完成予想外観図



成長地域での事業拡大を基本戦略としたグローバル拡販を推進するため、ドイツに欧州事務所を開設し、欧州における市場ニーズや開発トレンドなどの情報収集活動や窓口対応を強化します。

開設する事務所の概要

- | | |
|------------|------------------------------------|
| (1) 事務所名 | 芦森工業株式会社 欧州事務所 |
| (2) 所在地 | ドイツ連邦共和国 バーデン＝ヴュルテンベルク州ジンデルフィンゲン |
| (3) 開設年月 | 2017年5月末(予定) |
| (4) 主な事業内容 | 既存取引先との関係強化、新規取引先の開拓を目的とした情報収集活動など |



欧州事務所開設予定地

当社グループのオールセーフ株式会社の「九州小城工場」が完成し、本年4月5日に竣工式を執りおこないました。
西日本およびアジアへの供給力を強化し業務拡大を目指します。

新工場建設の概要

- | | |
|------------|---|
| (1) 名称 | オールセーフ株式会社 九州小城工場 |
| (2) 所在地 | 佐賀県小城市小城町岩蔵2575-6 |
| (3) 敷地面積 | 1,535 m ² |
| (4) 建設費概算 | 約1 億円（主要な付帯設備を含む） |
| (5) 操業開始 | 2017 年4 月 |
| (6) 主な事業内容 | 物流機器等の製造販売
(取扱高 2017年 1.5億円→2024年 5億円) |



オールセーフ株式会社ホームページ
<http://allsafejapan.com/>

新工場外観



製品のご紹介 (自動車安全部品事業)



シートベルト



エアバッグ



トノカバー(フロントカバー付タイプ)

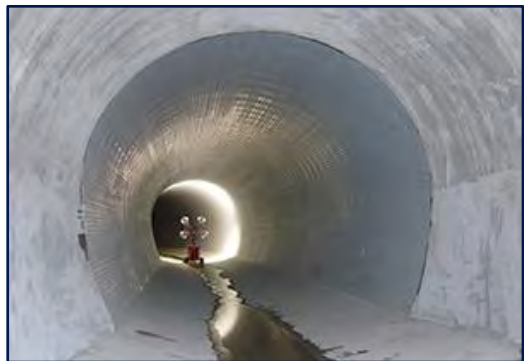


セパレーションネット

事業内容

自動車用シートベルト、エアバッグ、ステアリングホイールおよび内装品などの製造・販売

製品のご紹介（機能製品事業）



パルテム・フローリング工法
(管路更生工法)



ブルーラインシステム
(ポータブル給排水ポンプシステム)



ドルフィンエースα
(消防用ホース)



AQUANEXT
(浄水装置)



マリンエースSC
(船舶用ロープ)

事業内容

産業用繊維資材（合繊ロープ・帆布など）、物流省力化システム関連、および墜落阻止器具、消防用ホース、産業土木用ホースおよび防災関連資機材の製造・販売、管路更生工法「パルテム」用材料・資機材および土木資材などの製造・販売ならびに管路更生工事

芦森グループ

社是・M V V（Mission・Vision・Value）について

- 社是**
1. 信用を重んじ、堅実を旨とする
 2. 人の和と開かれた心で活力ある企業を築く
 3. 創意を生かし、社業を通じて社会に貢献する

Mission “安全・安心・快適”の提供で、社会に貢献する

Vision “安全・リニューアル”分野で技術をリードする
世界に通じる“Small but Excellent Company”

Value “信用”
“グッド・コミュニケーション”
“チャレンジ精神”



ASHIMORI
POWERED BY
INNOVATION

本資料中の業績予想および見込みについての記述は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。

IRに関するお問い合わせ先

芦森工業株式会社 広報・IR室

TEL : 06-6533-9250

MAIL : ir_madoguchi@ashimori.co.jp

HP : <http://www.ashimori.co.jp>